



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2014～2015 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「心に響き 心に残り そして心が熱くなる」

◆会長 永家 将嗣 ◆幹事 高原 清人 ◆会報委員長 岩垣津 亘 ◆会報担当 清水 幸平

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1025 回	54 名	53 名	41 名	—	77.36%
前々回 1023 回	53 名	53 名	44 名	5 名	92.45%

<点 鐘> 会長 永家 将嗣
<ロータリーソング> 我らの生業
<高山中央ロータリークラブ職業倫理>

<本日のビジター>
高山西ロータリークラブ

小森 丈一 様
伊藤 松寿 様

<本日のゲスト>
国際ロータリー第 2630 地区
ロータリー財団部門
補助金小委員会副委員長 堀部 哲夫 様

<会長の時間> 会長 永家 将嗣

皆さんこんにちは、最初に本日は嫌なお知らせをしなければなりません。それは 13 日に会員の岩本さんが仕事に交通事故に遭い、現在 ICU に入っていて後日骨折の手術を行うそうです。幸いに命には別状がなかったのが何よりです。



これから道路事情も悪くなってきますので皆さんも十分気をつけられてお仕事に励んで下さい。

また本日は 2630 地区補助金小委員会 堀部副委員長様には遠い所をおいで頂き誠にありがとうございます。後ほど卓話の方をよろしく願い致します。

さて高山中央ロータリークラブ計画表にも記載されていますが、11 月は「世界インターアクト週間」ですので、「世界インターアクト週間」の説明をしたいと思います。

この「世界インターアクト週間」とは 1962 年 11 月 5 日アメリカ・フロリダ州メルボルン RC の提唱により、メルボルン高校に世界最初のインターアクトクラブが結成されました。その創立記念日を祝い、11 月 5 日の週を「世界インターアクト週間」と指定されました。この週はインターアクトクラブの地域社会への貢献を多くの人々に知ってもらおう機会にしたいと期待されています。

またインターアクトクラブとはロータリークラブにより提唱された、12 歳から 18 歳までの青少年または高校生のための社会奉仕クラブです。日本に於いては、高等学校の福祉・ボランティア系のクラブ活動として置かれています。

第 2630 地区ではインターアクトクラブが 38 高校あり、インターアクターが 330 名います。当飛騨地区でもスポンサークラブの下呂 RC が益田清風高等学校インターアクトクラブ・高山 RC が斐太高等学校インターアクトクラブ・高山西 RC が飛騨高山高等学校インターアクトクラブの 3 校があります。

当地区のインターアクト小委員会では日韓交換交流派遣事業に力を入れていて、この派遣事業が今年で 23 年目を迎えました。

そして各地区にて合同研修会を開催しています。10 月 26 日には高山で第 29 回飛騨地区 I. A. C 合同研修会が開催され堀部ノミニーと共に地区青少年育成小委員会として出席してきました。

当日は国際基督教大学 3 年の猿田さんの講演でした。内容は日本とイスラエル・パレスチナの学生の会議を主催し対立しているイスラエル・パレスチナの学生達がディスカッションの中で葛藤と闘いながらお互いの心を開いていくお話でした。

国と国の対立が子供や学生達の心を傷つけている現状を聞き心が痛みました。

改めて平和の大切さを感じました。

<幹事報告> 幹事 高原 清人

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より
・2015-2016 年度地区補助金申請のご案内

◎ロータリー米山記念奨学会より
・ハイライトよねやま 176 号

<高山市教育委員会より>

・高山市キャリア教育を考える会総会のご案内

日時：12 月 15 日 (月) 13:00～15:30

会場：高山市役所 3 階行政委員会室

<本日のプログラム>**ロータリー財団委員会 今井 副委員長**

理事会で承認いただきましたのでロータリー財団への寄付をおひとり 100 ドル以上でお願い致します。

**<卓話>****国際ロータリー第 2630 地区****ロータリー財団部門補助金小委員会****地区補助金担当副委員長****堀部 哲夫 様 (関ロータリークラブ)**

まず、新しい会員の方もいらっしゃると思いますので簡単にロータリー財団について説明します。財団の標語は「世界で良いことをしよう」です。使命は、「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。

これは 1917 年の RI 会長アーチ・クランプによって提唱されロータリアンからの寄付による基金を作ることになりました。最初 26 ドル 50 セントから始まった財団基金は現在 8 億 1,370 万ドルを超えました。この基金から出される資金により世界中で恵まれない人たちに色々な支援プロジェクトを実施しています。

13 年-14 年度から「未来の夢計画」として新しい補助金制度がスタートしています。新補助金制度は、次の五つの優先事項を目的としています。



プログラムとその手続きの簡素化がされています。過去の補助金は、さまざまな補助金が 12~14 種類あって、それぞれが、資金調達、授与と受諾の条件、申請手続きが異なっていて複雑でした。それらをまとめて使いやすくしたのが、未来の夢計画と題した新補助金制度です。

この制度では、補助金が地区補助金、グローバル補助金、マッチンググレードの 3 種類に絞られています。一番変わったことは、資金の出どころを統一したこと。授与と受諾条件をほとんど共通化した事です。

ロータリアンによる奉仕活動の的を絞っています。ロータリアンが自ら汗を流して奉仕することが重要になってきます。単なる寄付や物品の贈呈、例会の出席や、贈呈式を行うだけの事業は認められません。

地元と海外の両方で奉仕活動の支援をします。地区補助金は国内の事業でも海外の事業でもどちらでも使うことが出来ます。

地区の決定権を広げています。地区補助金についてはその決定権はほとんど地区にあります。グローバル補助金については、地区の承認を得て、クラブが RI に申請します。

ロータリーの公共イメージの向上(他のボランティア活動と一線を画す)を目指します。ロータリーにしかできない奉仕活動をやってください。ロータリアンが自ら汗を流すことであり、単なる寄付に終わらせない奉仕です。

それでは、財団に寄付したお金がどのような流れで補助金として帰ってくるのか見ていきましょう。

まず、ロータリアンから財団への寄付には 3 種類あります。年次寄付と恒久基金寄付、使途指定寄付です。使途使命寄付はポリオ以外にも色々あります。

皆さんからの年次寄付(毎年 100 ドル寄付して頂くもの)は、すべてまず 3 年間運用されます。そして、3 年たつとその元本はすべて補助金の資源となります。恒久基金は毎年運用され、その運用益の 50%が補助金の資源として加えられます。そうして作られた補助金の資源は 50%を DDF(地区財団活動資金)として地区に戻します。地区は、その DDF の 50%を地区補助金として使うことが出来ます。DDF の残りの 50%はグローバル補助金、又は、奨学金として使うことが出来ます。

グローバル補助金は、同額の WF の資金も使えます。WF はこの他はパッケージグランドとして使われます。

それでは、補助金はどんなものか説明します。地区補助金は地域や海外を問わず、人道的プログラムでも、奉仕プロジェクトでも使用でき、小規模なプロジェクトに使用するものです。地区の権限で支給することが出来ます。支給される額は、3 年前の EREY により地区が決めた支給規定によって決められます。ロータリアンが自ら行うプロジェクトであること。単に、他の団体の事業に相乗りするのを禁止しています。また、他団体への寄付も認められません。次にグローバル補助金です。これは、大きな金額を使うことが出来ます。使用できるのは、6 つの重点分野に関連したプロジェクトに限られます。そして、そのプログラムの成果が持続すること、その成果が計測されなければなりません。実施国のロータリークラブとの共同の提唱になります。補助金は DDF と WF の両方から出ますのでかなり使うことが出来ます。中津川ロータリーが本年この補助金を利用しています。

次にパッケージグランドですが、これは全額 WF を資源とするプログラムで、決定権は TRF に有ります。TRF が建てたプロジェクトにクラブが参加する形になります。大規模なプロジェクトに使用されます。クラブは、企画や資金の心配なくプログラムに専念するメリットが有ります。

それでは、次に地区補助金を使う場合の流れを説明します。財団セミナーに必ずクラブから 1 名以上を出席させ「クラブの覚書 MOU」を提出する必要がある有ります。クラブは事業実施前年度 11 月末までにプロジェクトの実施計画を立てます。会長エレクトの内に計画する必要がある有ります。

12 月末から 1 月末までに申請書を提出します。申請は、出来るだけ早くしてください。委員会では申請の早い順に審査します。補助金小委員会で 3 月末までに決定して、4 月の初めまでにはクラブに仮決定の通知をします。

地区は 5 月下旬にクラブからの申請されたプロジェクトの承認したものをまとめて一括で TRF に申請します。その際、前年申請分の報告を一緒に行います。6 月~7 月に TRF からお金が振り込まれます。お金が入り次第、各クラブに支給されます。

クラブは事業実施前年度の 4 月までには事業を実施してください。そして、報告書を 5 月上旬までには提出してください。

しかし、「その申請書が難しいだろう」と言われますがそんなことは有りません。私たちが審査していて、感じたことを少し述べたいと思います。申請書はできるだけ詳しく書いてください。

まず、プロジェクトの内容を抽象的な言葉ではなく、出来るだけ具体的に書いてください。「いつ、どこで、誰が、誰に対して、どのようなことを、どのようにして、どのくらいするか」書いてください。

財団の使命に関係する理由を書いてください。これも、出来るだけ具体的に、出来れば2つ以上の使命に関係しているようにしてください。

次に良く訂正の有るのが予算書です。予算は必ず見積もりを取って根拠のある予算建てをしてください。

継続事業、他団体が主体の事業、ローターアクト、インターアクトの事業、娯楽活動などは承認されにくいのでご注意ください。協力団体からもお金が出ている場合は承認されない可能性が高いと考えてください。奨学金、職業研修、貧困地域への援助等は承認されやすいと思います。

次にグローバル補助金を利用する場合の流れを説明します。実施国と援助国の双方のロータリークラブが共同で提唱します。双方から3名程度の人を出して小委員会を作る必要が有ります。プログラムに賛同する他地区のクラブも援助国として参加することが出来ます。提案クラブが増えれば、拠出金がふえて補助金額も大きくなりますから、より大きな事業が出来ます。

持続可能なプロジェクトの立案すること。その効果が明確に計測できる必要が有ります。そして、その計測が3年間追跡する必要が有ります。

グローバル補助金を使うためには、地区の「クラブの覚書」に同意する必要が有ります。地区補助金の場合と同じです。地区のセミナーに1名以上出席させなければなりません。申請は何時でも随時できますが、DDFの予算をつかう必要性からまず地区の承認を得る必要が有ります。地区の承認後、クラブが直接TRFに申請を行います。この申請書は日本語でもできますが、相手国のロータリーと内容を合わせる必要が有ります。共同提唱者で内容が異なれば承認が得られません。ここで語学が必要になります。

クラブはTRFから支払をされてから12か月以内にプロジェクトを実施します。事業開始後12か月毎に中間報告をします。そして、事業が終了しても、3年間は効果の計測記録をしなければなりません。

グローバル補助金についてはハードルが高いと思われませんが、地区財団部門としては各クラブに是非グローバルに挑戦して頂きたいと考えています。地区補助金はおかげさまで多くのクラブが申請して頂けるようになりました。おかげで、資金が不足する状況になってきました。しかし、グローバル補助金の資金はまだ余裕が有ります。使用されなかったDDFはTRFへ返還することになります。是非地区内のクラブで使用して頂きたいと思えます。

補助金はこれからどんな状況になるかお話しします。

まず、高山中央ロータリークラブの財団寄付と補助金の利用状況を見てみましょう。

当クラブは、昨年「夏休み親子で体験春慶マイ著作」に補助金を利用されました。これは10年-11年度の寄付額 EREYにより支給されたものです。約1951ドル位使用されています。(20万円位)

本年度は「高校生による小学生のものづくり体験教室」に補助金を利用されています。EREYも11年-12年度は135%とかなり高い数字を出されています。来年度も、是非補助金を使用してください。12月には申請してください。

その際の支給額はクラブ拠出金に EREY を掛けたものを2倍します。さらにそれに偏差補正額を引いた額になります。この偏差補正額は、11月8日に説明が有りましたが、申請されたクラブすべてに補助金を出すための工夫です。もちろん、授与と受諾の条件が適正な事業だけですが・・・寄

付金の額に比して補助金の取り過ぎを防ぎ、出来るだけ申請したクラブすべてに補助金が渡るようにします。

次年度までは EREY100 超えの場合は2倍でしたが、再来年の申請分からは1.5倍になります。EREYが150を超えた場合は2倍になります。

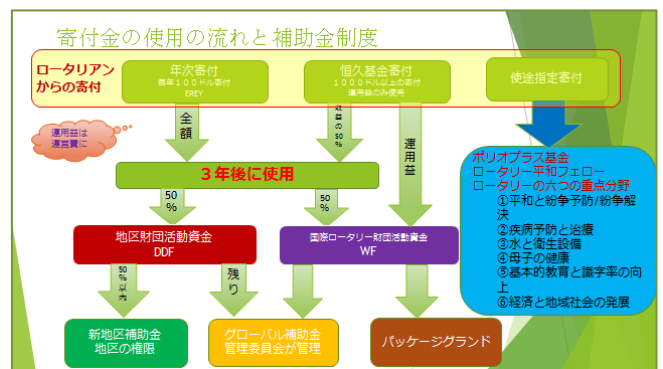
このように、地区補助金を使う場合、企画から実施まで予算を含めて数年単位での活動が必要となります。そのためには、パスト会長、会長、エレクト、ノミニーによるクラブ運営会議の実行や、社会奉仕、財団委員会の委員長は副委員長が持ち上がるようにすることなどがが必要です。

財団寄付の目標 EREYが150になっています。多くのクラブで EREY150 達成してきています。そのための方法を考えていけない時期に来ています。地区補助金の申請が増えて来て資金が不足するようになってきました。地区補助金の原資は皆さんの財団寄付です。

11月8日のセミナーで釧田ガバナーノミニーが申されました。

「財団寄付と言うが、これは寄付ではない。我々が、プロジェクトで使う原資ですから財団に預金をしていると同じで寄付ではありません。自分たちの活動資金を預けているだけです。」是非 EREY150 を達成してください。

最後に、やはりグローバル補助金への挑戦が必要です。こちらは、資金が豊富に有ります。



補助金のこれから

1. 多くのクラブが補助金を利用
財団への寄付は、自らのクラブの奉仕事業に使用して完結します

ロータリー年度	年次寄付 EREY	補助金の申請、実施
2010年-11年度	116.87	
2011年-12年度	135.79	
2012年-13年度	105.00	
2013年-14年度	106.00	
2014年-15年度	XXX.XX	夏休み親子で体験春慶マイ著作 \$ 1951.22
2015年-16年度	XXX.XX	高校生による小学生のものづくり体験教室 \$ 1680
2016年-17年度	XXX.XX	補助金 = クラブ拠出金 × EREY × 2 - (偏差補正額)
		補助金 = クラブ拠出金 × EREY × 1.5 - (偏差補正額)

2. EREY = 150
地区補助金の申請が大幅に増えてきました。申請して頂いたクラブ全部に公平に地区補助金を支給するために・・・(11月8日のセミナー)
財団寄付を増やして地区補助金として使える額を増やしていく為に EREY = 150 を目標とする
年次寄付は地区補助金として戻って来ます
他の団体と比べてロータリー財団寄付は効率よく人道的支援に使用されています

3. グローバル補助金に挑戦してください
グローバル補助金の勉強が必要になる。(実際の申請をしないと分からないことが多い)

<ニコニコBOX>

卓話させて頂きます。うまく話せませんがよろしく願い申し上げます。

**国際ロータリー第2630地区ロータリー財団部門
補助金小委員会副委員長 堀部 哲夫 様**

久しぶりにお邪魔しました。昨日は、直前地区幹事と剣田年度の地区幹事との合同研修会に出席しアイドリングのスイッチが入りました。行事が続きますが、共に頑張って行きましょう。

高山西ロータリークラブ 小森 丈一 様

久しぶりのメーキャップです。よろしくお願い申し上げます。また、剣田廣喜ガバナーノミニーの誕生、誠におめでとうございます。今後、益々のご健闘とご健勝を心より祈念申し上げます。

高山西ロータリークラブ 伊藤 松寿 様

地区補助金担当副委員長 堀部哲夫様、並びに高山西RCの小森様、伊藤様のご来訪を歓迎申し上げます。堀部様には後程卓話をよろしくお願ひします。間もなく雪が降るようですが冬対策を万全に準備しておきましょう。

理事役員一同

地区補助金小委員会 堀部副委員長様、本日は卓話をよろしくお願ひします。高山西RCの小森様、伊藤様のご来訪を歓迎申し上げます。

永家 将嗣

地区補助金担当小委員会副委員長 堀部哲夫様のご来訪ありがとうございます。本日は委員長欠席のため副委員長にて対応させて頂きますが、卓話をよろしくお願ひ致します。

今井 俊治

地区補助金担当副委員長 堀部様、高山西RCの小森様、伊藤様のご来訪を歓迎申し上げます。

平林 英一

地区補助金担当副委員長 堀部様、高山西RCの小森様、伊藤様のご来訪を歓迎申し上げます。岩本君の全快を祈って。

剣田 廣喜

地区補助金小委員会 堀部副委員長様の本日は卓話をよろしくお願ひします。高山西RCの小森様、伊藤様のご来訪を歓迎申し上げます。先般、誕生日祝いと結婚記念日祝いを頂き誠にありがとうございました。家庭では、火に油を注ぐ結果となりも～大変でした。

高原 清人

本日の地区補助金小委員会 堀部副委員長様歓迎し卓話を楽しみにしています。昨日は、剣田ガバナーノミニーの地区幹事の皆様、桑名まで研修ご苦労様でした。特に、高山西RCの小森様ありがとうございました。伊藤 正隆

昨日は研修会ご苦労様でした。「朝食は外で食べよう」・「私を凜子と呼んで・・・！」失樂園最高～～つ・づ・く！！

島 良明

昨日は桑名での研修会ご苦労様でした。そこで一句「はまぐりを期待したが失樂園」

橋本 修

高山西RCの小森様、伊藤様のご来訪を歓迎申し上げます。昨日は桑名西RCとの勉強会に参加されました皆様ご苦労様でした。小森様、ご同行ありがとうございました。

松之木 映一

岩本君がICUに入院したとの事。ICUは下着を付けていないのでいろんな面で心配です。

久々野 国良

先般は誕生日のお祝いありがとうございました。15日～16日とタイヤフェアを開催しスタットレスタイヤ脱着100台行い疲れしました。ちなみに昨年の初雪は11月11日でした。皆様も早めに装着され安全運転をして下さい。

黒地 重雄

前回出し遅れましたので・・・受賞祝賀会におきましては私まで高い席に座らせて頂きましてありがとうございました。美酒に酔い痴れさせて頂きました。

中田 専太郎

先週13日よりウィンターイルミネーションを始めました。今年大ヒットした例の映画のテーマに前回よりバージョンアップしていますので、是非一度観に来て下さい。12/6には、高木さんのバンドコンサートも予定しています。

大原 誠

今月は結婚記念日と妻の誕生日のお祝いをありがとうございました。

岡崎 壮男

先週は結婚記念日のお祝いをありがとうございました。冬支度で何かと忙しい日々ですが健康に感謝してニコニコへ。

足立 常孝

本日、早退しますのでお願ひします。

西倉 良介

